

<成城学園創立 100 周年 教育環境整備事業>

中高一貫の新校舎が完成

～地下1階は新校舎の「知」の中核として設計されました～

2017年5月に創立100周年を迎える学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長:渡 文明）は、成城学園第2世紀プランの中にある第2世紀ビジョン「成城教育環境設備の充実」の中核事業として推進しておりました「中学・高校一貫の新校舎」を、新年度を迎える2016年4月より使用開始いたします。

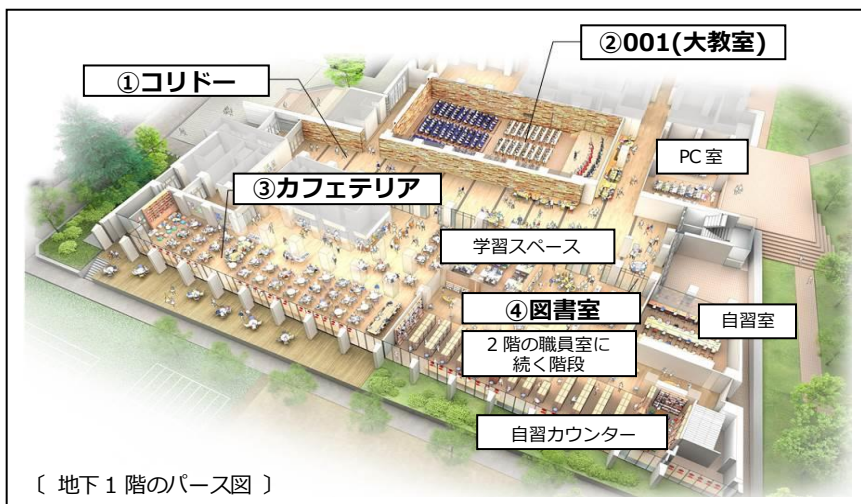
新校舎は、「成城学園にふさわしい学びの場」「緑を身近に感じる場」「自然エネルギーを積極的に利用する場」をコンセプトに設計されました。これにより、成城教育の良さを継承しつつ、最新の学びを享受できる教育環境となりました。

【「知」の中核として生徒が集まる施設を集約した地下1階】

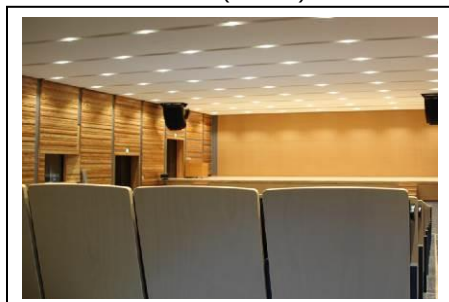
新校舎の地下1階には、生徒同士がコミュニケーションをとれる場の提供を重視し、コリドー（大廊下）、001（大教室）、図書室、カフェテリアといった生徒が集まる施設が集約されています。図書室とカフェテリアの間の扉を開けると地下1階フロアがすべて一体化する設計となっており、新校舎の「知」の中核を担っています。

また、図書室内の階段は1階の職員室に直結しており、より活発な生徒と教員の交流の場になっています。

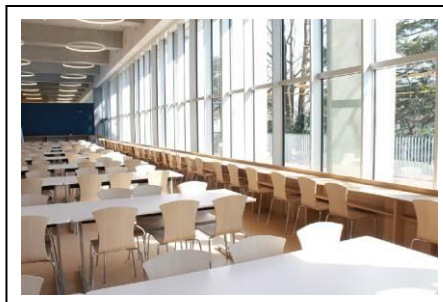
<① コリドー>



<③ 001(大教室)>



<② カフェテリア>



<④ 図書室>



～地下1階 核施設の詳細～

<①コリドー>

地下1階の中央にある、幅9m・長さ50mの大廊下。壁には、新校舎建設の際にやむを得ず伐採した木などの木材が使用され、たくさんの言語による世界の名言が刻まれています。また、グループワークやディスカッションに利用できるベンチスペースを多く配置しました。

<③カフェテリア>

座席数は300席あり、目の前に第1グラウンドが広がる開放感のある食堂です。窓側は全面ガラス張り、晴れた日には光が降り注ぎます。図書室とカフェテリアの間の扉を開けると、地下1Fフロアがすべて一体化する仕組みとなっています。

<②001 (大教室)>

330席を収容する大教室です。学年集会や保護者集会、外部向けの講演会など様々な用途に対応できる設計になっています。

<④図書室>

主体的な学びをサポートするブースを多数用意しました。また、図書室内の階段は、真上の1階にある職員室と直結しており、より活発な生徒と教員の交流の場になります。

【専門教育設備の充実】

専門教育設備として、「グローバルゾーン」「サイエンスゾーン」「音楽・美術教室棟」を整備いたしました。成城学園の教育改革“3つの柱”である「国際教育」「理数系教育」「情操・教養教育」の専門教育の場として活用してまいります。

*「サイエンスゾーン」「音楽・美術教室棟」は2017年度完成予定です。

<グローバルゾーン>

東棟3階にあるグローバルゾーンは、6つの教室があり、内装は6大陸をイメージした色を使用しています。成城学園が大切にしている国際教育の場として使用します。



<ICT教育環境の整備>

既存校舎をリノベーションし、8つの理科実験室からなる「サイエンスゾーン」と、「音楽・美術教室棟」を新設しました。成城学園が大切にしている理系教育と芸術教育への学習意欲と理解を促進するために使用します。



〔教室イメージ図〕

【自然エネルギーを積極的に利用】

<ソーラーパネルの設置>

校舎屋上には、ソーラーパネル108基を設置しました。約20KWの電力が得られ、校舎内の電力に利用されます。また、災害時にもこちらの電力を利用して対応いたします。



◆新校舎 3つのコンセプトを実現する施設

「成城学園にふさわしい学びの場」

…地下1階の空間全体、グローバルゾーン・サイエンスゾーンなどの専門教育環境

「緑を身近に感じる場」

…目の前に第1グラウンドが広がるカフェテリア、敷地の北側に位置する「100年の森」

「自然エネルギーを積極的に利用する場」

…ソーラーパネルが設置された屋上、自然換気と自然光を取り込んだ設計の教室

成城学園は、2008年に中高一貫カリキュラムを導入してソフト面での充実を進めてきましたが、新校舎建設でハード面も整備されることになります。

《工事概要》

事業名：成城学園100周年記念教育環境整備事業（中高一貫校舎新築）

工期：2014年7月～2016年2月

構造：RC造（一部S造）

規模：地下1階、地上4階、塔屋1階

敷地面積：22,070.51m²

建築面積：5,079.74m²

延床面積：14,895.41m²



〔 エントランス広場 〕